

はじめに

近年の流通業を取り巻く経済状況は、中央では一部に景気回復の兆しがあるものの、地方では依然として好転の兆しは見受けられません。特に地方の中小企業にとっては、資本力、商品力等に優れている大企業との激しい競争に晒されるなど厳しい経営状態が続いています。

青森市においては、2010年12月に東北新幹線が全線開業し、首都圏との時間距離が大幅に短縮されました。東北新幹線全線開業を大きなビジネスチャンスとして活かすためには、地元各企業がストロー効果に対抗するためにも今まで以上に企業力をレベルアップする必要があります。

その企業力をアップするためのキーは何といっても人材力にあると考えます。そこで青森総合卸センターでは、企業の経営者及び中核人材の育成・確保や組織力の強化を図るため、常設の座学スタイルの従業員研修施設・組織が必要であるとの認識にたち、このたび「問屋町ビジネススクール」構想の具体化を目指し、本計画を策定いたしました。この常設の座学スタイルの従業員研修施設・組織は、残念ながら青森市にはこれまでなかったものです。

「問屋町ビジネススクール」構想では、「企業のマネジメントの質」や「ビジネスのクオリティの向上」「流通産業の中核としての卸売業の基盤強化」を基本コンセプトとし、企業教育研修の必要性和具体的な運営スキーム等を提案しております。

また、当スクールは、受講者を組合員企業だけに限定せず、青森市内外の員外企業にも広く開放し、多くの企業に常設の人材教育施設として利用していただくことで、青森市・青森県の経済の発展に僅かながらでも寄与できるよう取り組んでまいります。

終わりに、本計画策定にあたり、貴重なご意見、ご提言をいただきました、組合員企業、策定専門委員の方々及び関係機関の皆様に対し、心から感謝申し上げます。

平成23年2月

問屋町ビジネススクール構想
策定特別委員会
委員長 西 秀 記